

第33回市民とともに考える救急医療シンポジウム

身につけようBLS

NPO法人日本ACLS協会

(船橋市立医療センター前救命救急センター長)

境田 康二

BLS(一次救命処置)



BLS (Basic Life Support) 一次救命処置

1. CPR (心肺蘇生)

胸骨圧迫 (心臓マッサージ)、人工呼吸

2. AED (全自動体外式除細動器)

3. 窒息に対する対処

院外心停止で 救命の可能性が高いもの

1) 心臓の病気が原因

心筋梗塞からの心室細動

心臓震盪による心室細動

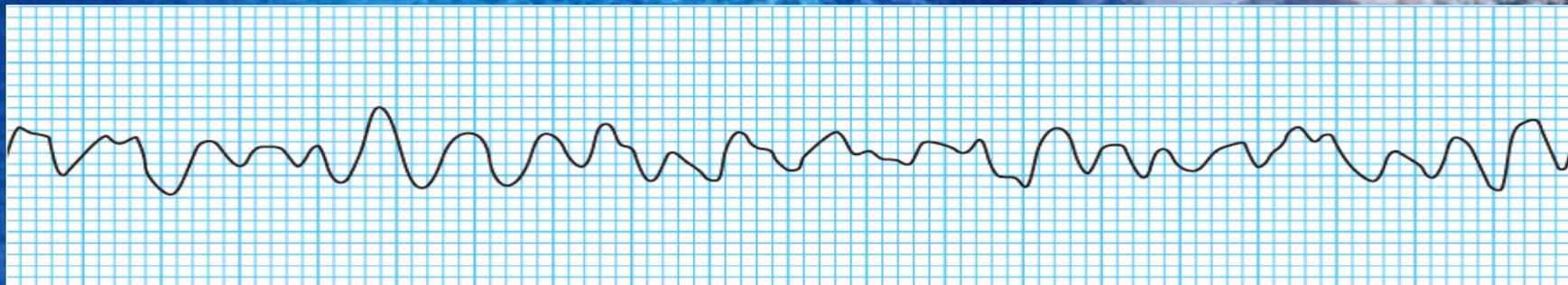
2) 窒息、溺水

いずれも現場での早期のBLSが必要

正常心電図



心室細動



心室細動は助かるのか！

目撃のある心室細動の社会復帰率は
地域の救急医療レベルの指標となる

目標：米国 シアトル：60%

心臓震盪(心室細動)



第33回市民とともに考える救急医療シンポジウム

「市民参加」の時代

AED PAD



市民によるAED使用状況 (心臓疾患が原因)

番号	AED使用施設名	日時	年齢・性別	予後
1	スポーツクラブ	平成17年12月	50歳・女性	社会復帰
2	市民駅伝マラソン	平成18年1月	52歳・男性	死亡
3	駅	平成20年9月	30歳・女性	社会復帰
4	飲食店舗	平成20年12月	74歳・男性	死亡
5	公園	平成20年12月	37歳・男性	死亡
6	スポーツクラブ	平成21年2月	68歳・男性	社会復帰
7	公園	平成21年4月	62歳・男性	昏睡状態
8	駅	平成21年4月	62歳・男性	社会復帰
9	駅	平成21年6月	70歳・男性	社会復帰
10	スポーツクラブ	平成21年7月	61歳・男性	社会復帰

市民によるAED使用状況 (心臓疾患が原因)

番号	AED使用施設名	日時	年齢・性別	予後
1	スポーツクラブ	平成17年12月	50歳・女性	社会復帰
2	市民駅伝マラソン	平成18年1月	52歳・男性	死亡
3	駅	平成20年9月	30歳・女性	社会復帰
4	飲食店舗	平成20年12月	74歳・男性	死亡
5	公園	平成20年12月	37歳・男性	死亡
6	スポーツクラブ	平成21年2月	68歳・男性	社会復帰
7	公園	平成21年4月	62歳・男性	昏睡状態
8	駅	平成21年4月	62歳・男性	社会復帰
9	駅	平成21年6月	70歳・男性	社会復帰
10	スポーツクラブ	平成21年7月	61歳・男性	社会復帰

市民によるAED使用状況 (心臓疾患が原因)

番号	AED使用施設名	日時	年齢・性別	予後
1	スポーツクラブ	平成17年12月	50歳・女性	社会復帰
2	市民駅伝マラソン	平成18年1月	52歳・男性	死亡
3	駅	平成20年9月	30歳・女性	社会復帰
4	飲食店舗	平成20年12月	74歳・男性	死亡
5	公園	平成20年12月	37歳・男性	死亡
6	スポーツクラブ	平成21年2月	68歳・男性	社会復帰
7	公園	平成21年4月	62歳・男性	昏睡状態
8	駅	平成21年4月	62歳・男性	社会復帰
9	駅	平成21年6月	70歳・男性	社会復帰
10	スポーツクラブ	平成21年7月	61歳・男性	社会復帰

医療従事者にも
心肺蘇生の教育は必要か？



検討時期

平成5年4月～平成15年3月までの10年間を3期に分類

分類	前期	中期	後期
時期	平成5年4月 ～ 平成10年6月	平成10年7月 ～ 平成11年6月	平成11年7月 ～ 平成15年3月
ACLS	(－)	(±)	(＋)
治療	各自の 思い思い	移行期	ACLSに 基づく

目撃者ありの心室細動例 心拍再開率、社会復帰率

	前期	中期	後期
心室細動例	75	18	49
心拍再開数	38	11	40
心拍再開率	50.7%	61.1%	81.6% *
社会復帰数	13	4	20
社会復帰率	17.3%	22.2%	40.8% *

* P<0.01

窒息



成人・小児に対する窒息の対処



腹部突き上げ法
(ハイムリック法)



背部叩打法

乳児に対する窒息の対処



背部叩打法・胸部突き上げ法

心肺蘇生等の応急手当てに係る取り組みの実施について (令和6年6月3日6教参学第14号 文部科学省)

学校で児童生徒等の重大事故が発生した場合、救急要請することに加え、適切な応急手当てを行うことが重要です。……実習を通じた学修・研修の機会の確保について、積極的に取り組んでいただくようお願いします。

一方で、文部科学省の調べによると

教員養成段階において必修となっている授業において

AEDを用いた実習を行っている大学は全体の**11.7%**

一次救命処置に関する内容(具体的な内容の座学や実習等)を含んでいる大学は

全体の**31.1%**となっております

国民の命を救うための技術

医療従事者なら出来るはず？

→医師×、看護師×、救急救命士×

なぜ出来ないか？・・・教育がきちんと行われて来なかった現状

本来、誰が教育を行うべきか？

→国？県？市？医学部？看護学校？消防庁？

教育にはお金が必要・・・テキストが必要、人形他資機材が必要

→税金が有効に使われていない？

アメリカ心臓協会の講習会を開催して人の命を救おう！

→NPO法人日本ACLS協会

アメリカ心臓協会 (AHA) の講習会

- 船橋市医師会ドクターカー同乗医師 (BLS、ACLS)
- 千葉県看護協会 (BLS、ACLS)
- 千葉県消防学校 (救急隊員) (BLS)
- 船橋市立医療センター初期研修医 (BLS、ACLS)

船橋市関係

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| スポーツ関係者 | 2024.8.18 | BLS、応急手当て |
| 一般市民向け | 2024.9.7 | CPR、AED |

ご静聴有難うございました

